

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	昨年一年を通して、利用者の転倒が続き、安全な移乗・移動が十分でなかった。	利用者一人ひとりの移乗・移動の動作をアセスメントし、本人の能力に応じた安全な動作を確保していく。	①移乗、立ち上がり、歩行開始時の見守り及び必要な介助方法の統一を徹底していく。 ②下肢筋力強化のためのプログラムを実施していく。	12か月
2	7	虐待に関する認識が不足し、虐待防止への具体的な取り組みが不十分であった。	虐待の定義や虐待防止に関する具体的な知識や技術の習得を行い、虐待防止への認識の強化を図っていく。	①高齢者虐待防止法の職場内研修を実施する。 ②職員の介護負担の軽減に取り組む。	12か月
3	36	馴染みの関係を作ることの偏重から、「利用者様」という認識が薄れ、人格を損ね兼ねない言葉遣いがみられた。	「利用者様」という認識を徹底し、人格を尊重した言葉遣いの改善を図る。	①「介護を受ける人」から「サービス利用者」への認識の変化を図る。 ②ゆとりをもった介護を提供する。	12か月
4	19	家族等の介護に対する満足度を十分に反映させた介護が不十分であった。	本人を共に支え合う家族との関係づくりに取り組む。	①随時、家族との連絡を重ね、家族が納得できるように、可能な限り意見を反映させた本人の生活を目指す。 ②定期的な行事や懇談会等で、具体的に意見を伺う機会を作る。	12か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。